

marantz®



SR8015

2020年9月25日

AV サラウンドアンプ

カラー：ブラック

希望小売価格：370,000円（税抜価格）

JANコード：49-51035-07282-0（SR8015/FB）

発売時期：2020年10月中旬

独立基板型 11ch フルディスクリット・パワーアンプを搭載する、
マランツの最高峰一体型 AV サラウンドアンプ

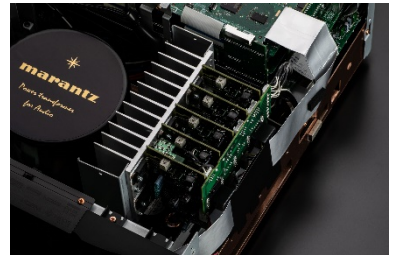
Key Features

- ・ 独立基板型 11ch フルディスクリット・パワーアンプ
Hi-Fi コンポーネントに匹敵するレベルのチャンネルセパレーション、空間表現力を実現
- ・ HDAM 搭載 13.2ch 電流帰還型プリアンプ
HDAM 搭載の高音質プリアンプ回路。13.2ch プロセッシング対応& 13.2ch プリアウト装備
- ・ Dolby Atmos、DTS:X、IMAX Enhanced、Auro-3D、MPEG-4 AAC に対応
新世代の 3D オーディオに加え、新 4K/8K 衛星放送の音声フォーマットにも対応
- ・ 8K / 60p、4K / 120p、HDR10+、HDCP 2.3、eARC に対応
最新の映像コンテンツを楽しむための新規格に幅広く対応。8 入力/3 出力の HDMI 入出力を装備
- ・ HEOS テクノロジーを搭載した先進のネットワーク機能
ストリーミング（Amazon Music HD、AWA、Spotify など）、インターネットラジオ、ハイレゾファイル再生
- ・ Wi-Fi、AirPlay 2、Bluetooth®、Alexa 対応
ワイヤレスで手軽にミュージックストリーミング。Bluetooth ヘッドホンへの送信機能も追加

Modern Musical Luxury

独立基板型 11ch フルディスクリット・パワーアンプ

一体型 AV アンプでありながら Hi-Fi コンポーネントに匹敵するレベルのチャンネルセパレーション、空間表現力を実現するために、11ch のパワーアンプすべてを 1ch ごとに独立した基板にマウントし、電源トランスの左右に対称に配置するシメトリカル・レイアウトを採用。個々のアンプはハイスピードなフルディスクリット回路により構成し、全チャンネル同一クオリティとすることにより、チャンネル間の音のつながり、立体的な音響空間への没入感を最大化しています。定格出力は 140W + 140W (8 Ω、20Hz - 20kHz、THD 0.05%、2ch 駆動)、実用最大出力は 250W (6 Ω、1kHz、THD 10%、1ch 駆動) を誇ります。接続するスピーカーのインピーダンスは最低 4Ω まで対応。ディスクリット構成であるため、回路設計およびパーツ選定の自由度が高く、Hi-Fi アンプと同様に徹底した音質チューニングを行うことができます。SR8015 には新開発のカスタムフィルムコンデンサーの他、高品位な金属皮膜抵抗や電解コンデンサーによって音質を磨き上げています。サラウンドバックおよびオーバーヘッドスピーカーを使用しない場合には、5ch のスピーカーをすべてバイアンプ接続して高音質化するフルバイアンプドライブにも対応しています。



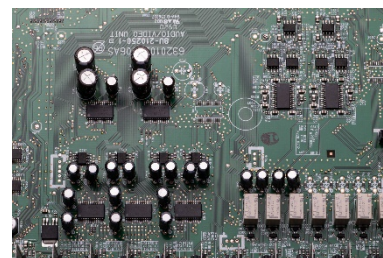
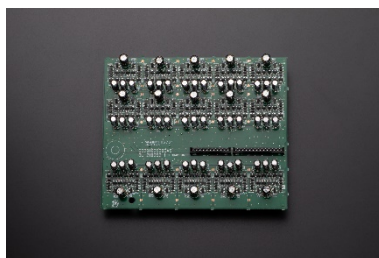
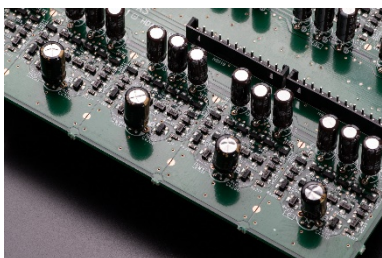
圧倒的な余裕を誇る電源回路

アンプの性能の根幹を支える電源回路のキーパーツには入念なりスニングテストによって厳選された高音質パーツを贅沢に使用しています。電源の要であるトランスにはノイズの影響を排除するシールドケース付きの大型のトロイダルコアトランスを、そしてパワーアンプ回路に電源を供給するブロックコンデンサーには SR8015 専用開発されたカスタムコンデンサー (22,000μF × 2) を採用することにより、大音量再生時にも圧倒的な余裕をもった電源供給を実現しています。電源部の強化と同時にパワーアンプなどの周辺回路の細部に至るまで徹底した音質チューニングを行うことにより、きめ細かく表情豊かな音色と透明感が高くより深い奥行きを感じさせる空間表現力を実現しています。



HDAM 搭載 13.2ch 電流帰還型プリアンプ

プリアンプ回路には、マランツが Hi-Fi コンポーネントで培ってきたワイドレンジ、ハイスピードを実現する回路設計のノウハウを惜しみなく投入しています。その心臓部には、超ハイスルーレート誇るマランツオリジナルのディスクリート高速アンプモジュール HDAM®-SA2 を採用しています。新たに定電流回路を追加することにより、プリアンプ回路における大幅な低歪化を実現。広帯域にわたるフラットな周波数特性とオペアンプの約 10 倍に及ぶハイスルーレートにより、ワイドバンド化するサウンドトラックやハイレゾ音源も忠実に再生することができます。また、入力セレクター、ボリューム、出力セレクターそれぞれの機能に特化した高性能カスタムデバイスを用いることにより信号経路を最短化。不要な信号経路の引き回しを排除することにより、透明感が高く情報量の豊かなサウンドを実現しています。13.2ch のプリアウトを装備しているため、ハイトスピーカーの追加やパワーアンプの強化などシステムの拡張が柔軟に行えます。また、新たにパワーアンプの動作を停止させ、高品位な AV プリアンプとしての使用を可能にする「プリアンプモード」を搭載しました。



3D オーディオフォーマット Dolby Atmos、DTS:X に対応

SR8015 は、新世代のオブジェクトオーディオ技術 Dolby Atmos、DTS:X に対応。頭上も含む全方位に展開する自然な音響空間に包み込まれることにより、まるで映画の世界に入り込んだようなサラウンド体験が可能になります。SR8015 は 11ch のパワーアンプを搭載しているため、パワーアンプの追加なしに [5.1.6]、[7.1.4] やフロントワイドを含む [9.1.2] システムを構築できます。13.2ch プロセッシングに対応しているため、2ch パワーアンプを追加すれば [7.1.6] および [9.1.4] までシステムを拡張できます*。また、「Dolby Surround」および「Neural:X」により、ステレオや 5.1ch、7.1ch の信号を立体的な 3D サウンドにアップミックスすることもできます。

*DTS:X では [7.1.4]、[9.1.2] まで。2020 年 10 月に [7.1.6] および [9.1.4] に対応する DTS:X Pro へのファームウェア・アップデートを提供予定です。



IMAX® Enhanced に対応

SR8015 は、IMAX と DTS による厳格な性能基準を満たす IMAX Enhanced 認定製品であり、IMAX と DTS の技術によってデジタルリマスターされた IMAX Enhanced コンテンツの再生に最適化されたサウンドモード「IMAX DTS」、「IMAX DTS:X」が使用可能です。これにより、ホームシアターにおいてかつて経験したことがないほどのクォリティで、映画制作者の意図通りに IMAX Enhanced コンテンツを再生することができます。



Auro-3D® に対応

SR8015 は、Auro-3D デコーダーを搭載。通常の 5.1ch セットアップにフロントハイト (FHL+FHR)、センターハイト (CH)、サラウンドハイト (SHL+SHR)、トップサラウンド (TS) スピーカーを加えた 11.1ch システムで、自然で臨場感豊かな 3D サウンドを楽しむことができます。さらにパワーアンプを追加すればサラウンドバックスピーカーを含む 13.1ch システムまで拡張することができます。また、Auro-Matic®アルゴリズムによって、モノラル、ステレオおよびサラウンドコンテンツを自然な 3D サウンドにアップミックスすることも可能です。

MPEG-4 AAC に対応

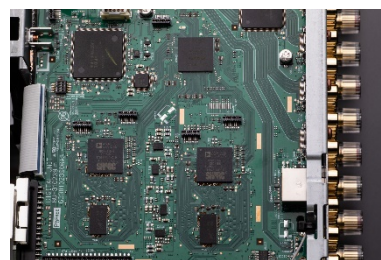
SR8015 は、新 4K/8K 衛星放送で使用されている音声フォーマット MPEG-4 AAC (ステレオ、5.1ch) に新たに対応。4K や 8K の超高解像度な映像を臨場感豊かなサラウンドサウンドと共に楽しむことができます。

Dolby Atmos Height Virtualizer、DTS Virtual:X に対応

SR8015 は、最新のバーチャル 3D サラウンドテクノロジー Dolby Atmos Height Virtualizer および DTS Virtual:X に対応しており、ハイトスピーカーやサラウンドスピーカーを設置していないステレオ、5.1ch、7.1ch などの環境においても、高さ方向を含むあらゆる方向からのサウンドに包み込まれるイマーシブオーディオ体験を可能にします。3D サラウンドフォーマットの信号はもちろん、ステレオや 5.1ch 信号に対しても適用することができるため、既存のコンテンツも臨場感豊かに楽しむことができます。

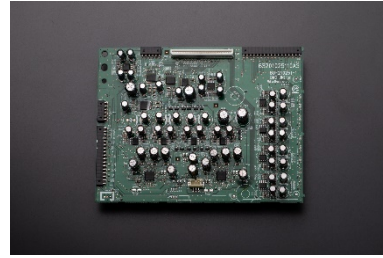
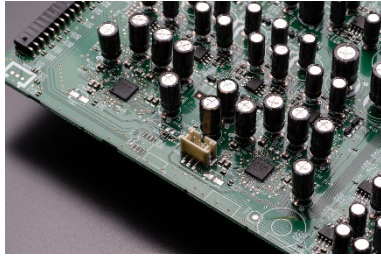
32bit フローティングポイント DSP を 2 基搭載

Dolby Atmos をはじめとするサラウンド音声信号のレンダリングやデコーディング、音場補正など負荷の大きな処理を同時に行い、高音質を実現するためには非常に高い処理能力が求められます。SR8015 は、13.2ch 分の処理を余裕をもって行うために 2 基の 32 bit フローティングポイント DSP を搭載。高度な処理能力によって音源の持つクオリティを余さず引き出します。



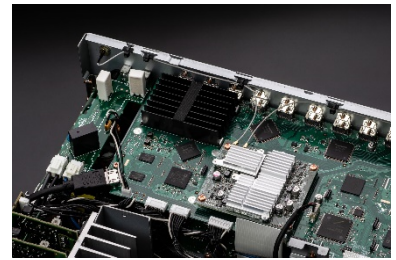
32bit プレミアム D/A コンバーター「AK4458VN」

旭化成エレクトロニクス製 32bit 8ch D/A コンバーター「AK4458VN」を採用。S/N が高く、歪みが極めて少ないため、繊細な音の描写、透明感の高い空間表現に優れています。32bit 処理の内蔵デジタルフィルターによりきめ細かく自然なサウンドを実現します。ディテールの表現力向上のために、出力抵抗に高精度な薄膜型金属皮膜抵抗を使用しています。D/A 変換回路を映像回路やネットワーク回路から独立した、専用基板にマウントすることにより相互干渉を排除しています。



HDMI 入力、ネットワークオーディオの音質を向上

2020年のマランツのAVアンプ開発においては、HDMI入力およびネットワークオーディオの音質向上をテーマに、コンデンサーや抵抗など数多くのパーツの品種や定数の見直し、基板上のパターンの強化、クロックモジュールの振動対策など、これまで以上に時間をかけて入念なサウンドチューニングを行いました。試作と試聴を幾度も重ね、効果を確認しながら音質を磨き上げた結果、より立体的な音像、透明感の高い空間表現力を実現しました。



高周波ノイズコントロール

SR8015はシャーシの低インピーダンス化のために銅メッキシャーシを採用しています。また、DSPやネットワーク、USBなどのデジタル回路への電源供給には専用のローノイズSMPSを使用し、アナログ回路との相互干渉を排除。デジタル電源回路の動作周波数を通常の約3倍に高速化してスイッチングノイズを再生音に影響の及ばない可聴帯域外へシフトしています。電源ラインに流入するノイズはデカップリングコンデンサーを用いて除去しています。コンデンサーの種類や定数はサウンドマネージャーによる試聴を繰り返し最適なものを選定。導電性ポリマーコンデンサーや薄膜高分子積層コンデンサーなど高性能なパーツを贅沢に使用しています。さらに基板やシャーシを固定するビスやワッシャーの種類を使用する箇所に応じて変更するなど、これまでに積み重ねてきた様々なノウハウを用いて音質をまとめ上げ、透明感の高い空間表現を実現しています。



全チャンネル同一のスクリー式スピーカー端子

すべての端子にスピーカーケーブルを確実に締め付けることができるスクリー式のスピーカー端子を採用。バナナプラグにも対応しています。全端子が水平に配置されており、容易にケーブルを接続することができます。付属のリアパネルの表示と同色のケーブルラベルをスピーカーケーブルに貼り付ければ誤配線の心配なしに接続が行えます。



Audyssey MultEQ XT32

専用マイクによるオートセットアップ機能「Audyssey MultEQ XT32」を搭載。下位グレードである Audyssey MultEQ XT に対して 32 倍のフィルター解像度で補正を行います。これは、映画館における補正に用いられる Audyssey MultEQ Pro と同じフィルター解像度であり、ホームシアターにおいても極めて高い精度で音場補正を行うことができます。最大 8 ポイントでの測定結果をもとに、スピーカーの距離、レベル、およびサブウーファースのクロスオーバー周波数を最適な状態に自動設定。さらに、接続されたスピーカーとリスニングルームの音響特性を測定し、時間軸と周波数特性の両方を補正することで、ルームアコースティクスを最適化。簡単な操作でクリアな定位、シームレスで流れるようなサウンド効果を楽しむことができます。2 台のサブウーファースを個別に測定、および補正する「Sub EQ HT」も搭載しており、それぞれに最適な設定を自動で行うことができます。また、セットアップマイクを取り付けるためのマイクスタンドを付属。マイクの高さを座ったときの耳の高さに合わせて調整することで、より精度の高いスピーカーのセットアップが可能です。SR8015 はスピーカーの構成や Audyssey による測定・補正データ等を含む 2 通りのスピーカー設定を保存することができます。スクリーンの上げ下げやカーテンの開閉等により部屋の音響特性が変化してしまう場合に、予めそれぞれに最適な 2 スピーカー設定を保存しておくことで、簡単に切り替えることができます。

ドルビーイネーブルドスピーカーについては、Audyssey MultEQ による自動補正に加え、天井までの高さを設定することでさらに補正の精度を高めることができます。

Audyssey MultEQ Editor アプリ

「Audyssey MultEQ Editor」アプリには、AV レシーバー単体では設定できない詳細な調整項目が用意されているため、部屋に起因する音響的な問題に対してさらに精密なカスタマイズが可能になり、個々のユーザーの好みも反映した理想的なサウンドを実現することができます。インストーラーやホームシアターのエキスパートがこのアプリを使うことによって Audyssey MultEQ XT の能力を最大限に引き出すことができます。

主な機能

- スピーカー検出結果の表示と編集（スピーカータイプ、距離、レベル）
- Audyssey MultEQ によるルーム補正前後の周波数特性の比較（チャンネルごと）
- Audyssey MultEQ ターゲットカーブの編集（チャンネル・ペアごと）
- Audyssey MultEQ 適用周波数の設定（チャンネル・ペアごと）
- 高域周波数ロールオフ特性の設定（2 種類）
- 中音域の補正のオン/オフ（明るいサウンド、スムーズなサウンドを切り替え、チャンネル・ペアごと）
- 補正・編集結果の保存と、保存した結果の読み込み



販売価格：2,400 円（税込）

※販売価格は、為替レートの変動により変更されることがあります。

8K/60p、4K/120p に対応する HDMI 入出力

HDMI 入力 1 系統（HDMI 7）、出力 2 系統（モニター1/2）が 8K/60p および 4K/120p 映像信号のパススルーに対応しています。また 8 入力/3 出力すべての HDMI 端子が最新の映像コンテンツに対する著作権保護技術「HDCP 2.3」に対応。衛星放送やインターネットを通して配信される 4K/8K Ultra HD コンテンツの超高精細映像をハイクオリティなサウンドとともに楽しむことができます。

※8K 対応プレーヤーを接続する際は、「Ultra High Speed 48 Gbps HDMI」ケーブルをご使用ください。

8K / 60p

4K / 120p

8in/3out

HDCP 2.3

HDR+、Dynamic HDR に対応

SR8015 は、映像のダイナミックレンジを拡張する「HDR（High Dynamic Range）」映像信号のパススルーに対応しています。HDR10、Dolby Vision、HLG（Hybrid Log-gamma）に加えて、新たに HDR10+および Dynamic HDR にも対応したため、最新のパッケージメディア、ストリーミング、放送などソースを問わず表現力豊かな HDR 映像を楽しむことができます。



COMPATIBLE
**DOLBY
VISION**

Dynamic HDR

HLG

HDR10

eARC、CEC に対応

SR8015 は、従来の ARC（Audio Return Channel）に加え、「eARC（Enhanced ARC）」にも対応しています。eARC では、テレビから AV アンプへの 5.1ch や 7.1ch のリニア PCM 信号や Dolby TrueHD / DTS-HD Master Audio などのロスレスオーディオ、Dolby Atmos / DTS:X などのオブジェクトオーディオの伝送が可能です。またテレビとの電源 ON / OFF や入力切替などの連携を可能にする HDMI CEC にも対応しています。

eARC

ARC

CEC

ゲーム&VR 体験の質を向上させる ALLM、VRR、QMS、QFT に対応

SR8015 は、HDMI 2.1 の新機能「ALLM（Auto Low Latency Mode）」、「VRR（Variable Refresh Rate）」、「QFT（Quick Frame Transport）」、「QMS（Quick Media Switching）」に対応しています。ALLM はコンテンツの種類に応じて画質とレイテンシーのどちらかを優先するかを自動で切り替える機能です。例えばゲームや VR コンテンツを再生する際には、レイテンシーが最小になるよう自動で設定され、操作に対する画面表示の遅れを最小化します。その際 AV レシーバーは、画質調整や i/p スケーラー、オートリップシンクなど、レイテンシーに影響する機能を停止します。VRR は、PC やゲーム機などの映像ソース機器とディスプレイを同期させ、任意のタイミングでリフレッシュレートを切り替えることを可能にします。これにより画面割れ（ティアリング）やカクつきなしに映像を表示することができます。QFT は、デ

ディスプレイ側のフレームレートは変更せずに、映像ソース機器からの伝送速度を上げることでレイテンシーを低減し、ゲームや VR コンテンツにおける表示の遅延を解消し、スムーズでシームレスな映像を実現します。QMS は、ディスプレイとソース機器のリンクを維持したままフレームレートや解像度を切り替えることを可能にします。これにより従来発生していた画面のブラックアウトや表示の乱れの問題を解決します。

ALLM

VRR

QFT

QMS

8K アップスケーリング

SR8015 は、入力されたアナログおよび HDMI 映像信号を 8K/60p や 4K/60p などにアップスケーリングして HDMI 出力することができます。

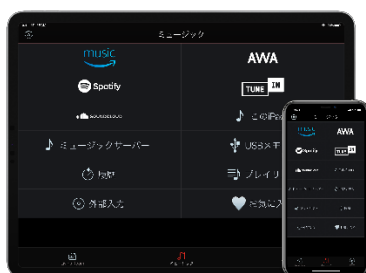
※フレームレート変換は行いません。※コンポジット、コンポーネントビデオ信号は 480i/576i のみ HDMI 出力可能です。その他の解像度のアナログ映像入力信号は HDMI 信号には変換されません。

HDMI スタンバイパススルー

本機がスタンバイ状態でも、ソース機器からの HDMI 入力信号を TV に出力することができます。また本機がスタンバイ状態でもリモコンの入力ソース選択ボタンで本機の入力ソースを切り替えることができます。

HEOS テクノロジーによる充実のネットワークオーディオ機能

ワイヤレス・オーディオシステム「HEOS」のテクノロジーによるネットワークオーディオ機能を搭載。セットアップ、操作は無料の HEOS アプリで誰でも簡単に。音楽ストリーミングサービスやインターネットラジオをはじめ、ローカルネットワーク上のミュージックサーバー（NAS / PC / Mac など）や USB メモリーに保存した音源やスマートフォン、タブレット、Bluetooth®機器など、多彩な音源を再生できます。さらに同一のネットワークに接続した他の HEOS Built-in デバイスに SR8015 で再生中の音楽を配信することもできます。



音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ対応

話題のロスレスストリーミング配信サービス Amazon Music HDをはじめ、AWA、Spotify、SoundCloud など様々な音楽ストリーミングサービス*に対応。ストリーミングサービスでは、これまでのように自分の好きなアーティストの楽曲を選んで再生することはもちろん、最新楽曲から往年の名曲まで、音楽のジャンル、時代、その日の気分などで選べる多種多様なプレイリストが豊富に用意されているため、新たな音楽との出会いの可能性が無限に広がります。また、音楽、トーク、ニュースなど世界中のインターネットラジオも楽しむことができます。MP3、WMA、AAC フォーマットで配信されているインターネットラジオ放送に対応しています。インターネットラジオ局の検索は、「TuneIn」のデータベースからジャンルや地域、言語などをもとに簡単に行うことができます。

*サービスの利用には別途登録・契約や料金が必要な場合があります。

Amazon Alexa に対応

SR8015 は、Alexa 搭載デバイスからの音声コントロールに対応。Alexa に話しかけるだけで再生、停止、スキップや音量の調整などの基本的な操作に加えて、Amazon Music の楽曲から楽曲名やアーティスト名、年代、ジャンルなどを指定して再生することができます。また、TuneIn のデータベースに登録されている世界中のインターネットラジオから好きな放送局を音声で呼び出すこともできます。

5.6 MHz DSD & ハイレゾ音源対応

ミュージックサーバーや USB メモリーに保存した DSD ファイルやハイレゾ音源の再生に対応しています。DSD ファイルは 5.6MHz まで、PCM 系ファイルは 192kHz/24bit まで再生することができます。さらに、DSD、WAV、FLAC、Apple Lossless ファイルのギャップレス再生にも対応。クラシック音楽や、ライブ盤などを聴いても曲間で音が途切れることはありません。

ネットワーク/USB メモリー対応フォーマット

フォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	ビットレングス	拡張子
DSD	2.8 / 5.6 MHz	—	1 bit	.dsf / dff
WAV	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	—	16 / 24 bit	.wav
FLAC	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	—	16 / 24 bit	.flac
ALAC	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	—	16 / 24 bit	.m4a
MP3	32 / 44.1 / 48 kHz	32 – 320 kbps	—	.mp3
WMA	32 / 44.1 / 48 kHz	48 – 192 kbps	—	.wma
AAC	32 / 44.1 / 48 kHz	48 – 320 kbps	—	.aac/m4a

※著作権保護のないファイルのみ再生できます。 ※FAT32 または NTFS フォーマットの USB メモリーに対応しています。 ※すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。 USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

AirPlay 2 対応

iPhone や iPad、Mac などから手軽に音楽を再生できる「AirPlay 2」に対応。Apple Music やアプリなどの音声を SR8015 で楽しむことができます。また複数の AirPlay 2 対応機器によるマルチルーム再生にも対応しています。さらに、「ホーム」アプリ上で SR8015 をアクセサリとして追加すると、Apple Music*や iPhone のライブラリの曲を Siri によるボイスコントロールで再生することができるようになります。

※サービスの利用には別途登録・契約や料金が必要な場合があります。

Bluetooth 対応

スマートフォンやタブレット、PC などの Bluetooth (A2DP プロファイル) 対応機器からのワイヤレス音楽再生に対応。AVRCP プロファイルにも対応しているため、本機のリモコンで再生、一時停止、スキップなどの操作を行うこともできます。最大 8 台までの Bluetooth 機器とペアリングすることができます。

Bluetooth 送信機能も搭載

SR8015 は Bluetooth 送信機能も搭載しており、本機で再生中の音声を Bluetooth ヘッドホン等でも再生することができます。たとえば、リビングのスピーカーで再生している音楽をキッチンで家事をしながらヘッドホンで一緒に聴いたり、夜間などスピーカーで大きな音が出せない時間帯に Bluetooth ヘッドホンで映画を楽しんだりすることができます。

※SR8015 からはヘッドホンの音量を調整できません。音量調整機能付きの Bluetooth ヘッドホンをご利用ください。

2.4 / 5 GHz デュアルバンド Wi-Fi (IEEE 802.11 a/b/g/n) 対応

SR8015 は、Wi-Fi (無線 LAN) 接続に対応しているため、設置場所に有線 LAN 環境がなくても、ネットワークオーディオ、インターネットラジオの再生やアプリでの操作が行えます。2.4 GHz 帯に加えて 5 GHz 帯にも対応しており、より安定した通信が可能です。ルーターへの接続は、ボタンひとつでつながる「WPS」や iOS デバイス (iOS 7 以降) による設定にも対応。テレビ画面に表示されるガイダンスに沿って簡単な操作でネットワーク接続が行えます。

Phono 入力装備

MM カートリッジ対応の Phono 入力を装備しています。フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーでも直接接続して手軽に楽しむことができます。

Marantz 2016 AVR Remote アプリ

無料のスマートフォン、タブレット用リモコンアプリ「Marantz 2016 AVR Remote」に対応。同一ネットワーク内の iPhone や iPad、Android スマートフォン、タブレットから SR8015 の操作や設定が行えます。



セットアップアシスタント

テレビ画面に表示される操作ガイドに沿って、誰でもかんたんに接続と初期設定ができるセットアップアシスタント機能を搭載。スピーカーの接続と設定、ネットワークの接続、入力機器の接続までを画像とテキストで初心者にも解りやすくガイドします。



スマートセレクト機能

リモコン上の4つのスマートセレクトボタンに入力ソース、音量レベル、サウンドモードの設定などを登録することができます。スマートセレクトボタンを押すだけで、登録した複数の設定をまとめて切り替えることができます。

マルチゾーン機能 (3ゾーン/3ソース)

メインルームと同じソース、または異なるソースを同時に楽しめるマルチゾーン機能を搭載。SR8015は2系統のマルチゾーンプリアウトを搭載しています。また、メインゾーンでハイトスピーカーを使用していない場合には、そのアンプをゾーン2/ゾーン3に割り当てることができます。それぞれのゾーンで個別に入力の選択やボリュームの設定が可能です。また、All Zone Stereo機能を使用すると、メインゾーンで再生中の音楽を同時にすべてのゾーンで楽しめます。

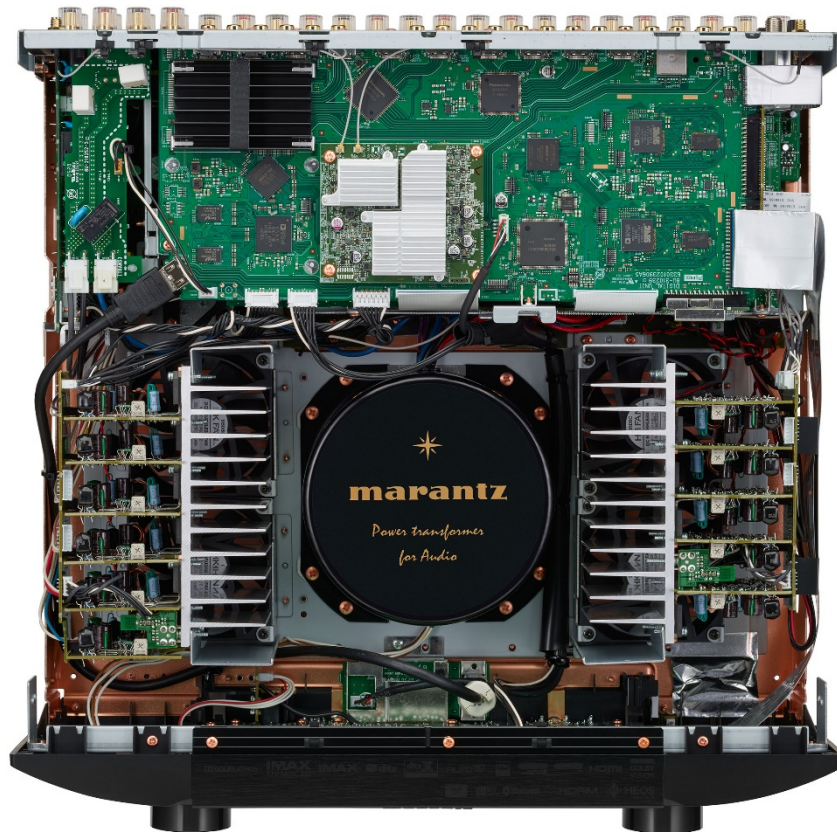
その他の特長

ピュアダイレクト機能 / トーンコントロール (Bass \pm 6dB、Treble \pm 6dB) / 小さな音は明瞭に、急に出る大きな音は小さく抑え深夜の視聴などに便利な「Audyssey Dynamic Volume」 / 小さな音量でも臨場感を損なわない「Audyssey Dynamic EQ」 / 圧縮音源を原音に近い状態に復元する「M-DAX (Marantz Dynamic Audio eXpander)」 / 3D映像伝送対応 / HDMIコントロール (CEC) 対応 / 学習機能付きリモコン付属 / スマートテレビのリモコンで本機を操作できるスマートメニュー機能 / Webブラウザで設定ができるWebコントロール機能 / スリープタイマー機能 (10分~120分) / オートスタンバイ機能 (15 / 30 / 60分) / 着脱式電源ケーブル

Specifications

搭載パワーアンプ数	11 ch
定格出力	140 W + 140 W (8 Ω、20 Hz - 20 kHz、THD 0.05 %) 175 W + 175 W (6 Ω、1 kHz、THD 0.7 %)
実用最大出力	210 W + 210 W (6 Ω、1 kHz、THD 10%、JEITA) 250 W (6 Ω、1 kHz、THD 10%、1 ch 駆動、JEITA)
適合インピーダンス	4 - 16Ω
S/N 比	102 dB (IHF-A、ダイレクトモード時)
周波数特性	10 - 100 kHz (+1、-3 dB、ダイレクトモード時)
HDMI 端子	入力×8 (8K 対応入力×1、フロント×1) 出力×3 (8K 対応モニター出力×2、ゾーン 2×1)
映像入力端子	コンポーネント×3、コンポジット×5 (フロント×1)
映像出力端子	コンポーネント×1、コンポジット×2 (モニター×1、ゾーン 2×1)
音声入力端子	アナログ×8 (フロント×1)、Phono (MM) ×1、7.1ch 入力×1、 光デジタル×2、同軸デジタル×2
音声出力端子	13.2ch プリアウト×1、ゾーンプリアウト×2、ヘッドホン×1
その他の端子	ネットワーク×1、USB-A (フロント) ×1、セットアップマイク入力×1、 Bluetooth/Wi-Fi アンテナ入力×2、RS-232C×1、DC トリガー出力×2、 フラッシュ入力×1、マランツリモートバス (RC-5) 入出力×1
無線 LAN (ネットワーク種類 / 周波数)	IEEE 802.11 a/b/g/n 準拠 (Wi-Fi*準拠) / 2.4 GHz、5 GHz
Bluetooth	バージョン 4.2 対応プロファイル 受信: A2DP 1.2、AVRCP 1.5 送信: A2DP 1.2 対応コーデック SBC 送信出力 / 通信距離 Class 1 / 約 30 m (見通し距離)
電源	AC 100V、50 / 60 Hz
消費電力	780 W
待機電力	0.2 W (通常スタンバイ) / 0.5 W (CEC スタンバイ)
最大外形寸法	W440 x H185 x D460 mm (アンテナを寝かせた場合) W440 x H248 x D460 mm (アンテナを立てた場合)
質量	17.6 kg
付属品	かんたんスタートガイド、リモコン (RC045SR)、単 4 形乾電池 × 2、 セットアップマイク、マイクスタンド、ケーブルラベル、 Bluetooth / Wi-Fi アンテナ×2、電源コード

Product Images



※製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更される場合があります。